

事業所名		キッズルームたまご				支援プログラム		作成日		2025	年	3	月	20	日
法人（事業所）理念		子どもの成長や自立を支援し、子ども・保護者・支援者が笑顔で過ごせる事業所。													
支援方針		・ 一人一人の個性に合わせた支援の提供。 ・ 様々な経験を通して子どもの「できた！」を支援する。 ・ 安心して過ごせる環境作り。 ・ ご家族と連携を取り一緒に成長を見守る。													
営業時間			10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無		あり なし						
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・ 心身の健康状態の把握…連絡帳や学校の先生からの情報、毎日の検温、顔色、様子を見て異常に早期発見、対応を行います。 ・ 基本的な生活スキルを身に着ける…食事・排泄、更衣等手順表を見ながらの声掛け、着替え・脱着の練習、排泄の時間誘導と声掛け、片付けなどをスモールステップで取り組む。													
	運動・感覚	・ サーキット、ダンス、遊具、ゲームなどの活動を通して身体機能の向上を図ります。 ・ 児の機能に合わせた姿勢の作り方や動作機能に合わせたツールの使用、指先運動（ハサミ・ボタン・箸・運筆・お絵描き・洗濯ばさみ）の支援を行います。 ・ 感覚過敏な児に配慮した環境作りと感覚特性に合わせた支援を行います。													
	認知・行動	・ 認知・理解しやすいようにイラストや文字で場所・物の名前などを明確にし、落ち着いて過ごせるように配慮しています。 ・ ホワイトボード、絵カード、時計（時間）で、事前にスケジュールを提示し落ち着いて過ごせるように支援しています。 ・ 遊びの中で時間、数の概念、ルールなどを伝えています。 ・ 児に合わせた読み・書きの学習支援を行います。													
	言語コミュニケーション	・ 絵カードや50音表、ホワイトボードなど、言葉以外でのコミュニケーション手段を用いて、あいさつや要求を伝え相互理解を図ります。 ・ 場面に応じた表情や発語から、児の気持ちを読み取り共有・共感することでコミュニケーション能力の向上につなげています。													
	人間関係社会性	・ 集団でのゲームや遊びで順番・交代・時間などのルール、負けの受け入れ、友達との手つなぎ、役割のある遊びや活動を通して集団を意識できるように支援します。 ・ 公共施設の利用、室外活動を通して社会のルールを学んだりコミュニケーション力を養っていきます。													
家族支援		・ 家庭、学校、デイの様子を連絡帳や送迎時に情報共有し、共通した支援を行っています。不安なこと、困りごとがあれば個別で相談、助言を行います。 ・ 季節ごとにデイでの様子を写真で伝えています。					移行支援		・ ライフステージを見据えながら、学校・相談事業所などの関係機関と連携を図ります。						
地域支援・地域連携		・ 福祉の関係機関や障害福祉サービス事業所等との連携をとっていきます。 ・ 地域の公園などを利用することで、地域の方と交流する機会を持っています。					職員の質の向上		・ 事業所内研修、個別支援会議、事業所間でのミーティング ・ 放デイ連絡協議会や行政の研修参加。						
主な行事等		・ 季節の行事（豆まき、お花見、夏祭り、プール、芋ほり、ハロウィン、クリスマス） ・ 季節の壁面制作。													